

## 世界社会奉仕 (WCS) 2008~2009年度 活動報告

### 1) 活動内容

美原 RC

2008年10月20日 大阪出発

10月21日 タイ国バンコクにてスリウオンRC 例会出席

10月22日 スリウオンRC WCS委員の方々とチェンマイへ

10月23日 スリウオンRC・3350地区の役員、タナキェウ氏・ボンサック氏と共にランブーンへ。 10:00より学校にてチェンマイの各RCの会員(約50名)と共に贈呈セレモニー。

自転車を贈呈する15校の代表生徒達が民族舞踊・演奏で歓迎450台の自転車は、各学校の生徒数や必要性に応じ、振り分けられているようです。多い学校では45台・少ない学校では9台と、まだまだ十分に行き渡っているとは言えません。

また、我々のクラブより日本製の鉛筆等文具を持って行き、集まってくれた生徒達(約90名)1人1人に配ったおりには、直接子ども1人1人の笑顔に触れることができました。その後15校の内の1校VISIT SCHOOLへ学校見学へ行きました。この学校は山岳民族カレン族の子供達が通う学校で先に行った学校に比べると施設も設備も小規模な学校ですが、校長より色々な話を聞きますと、近隣にある10~12校の学校とネットワークを作り、学校間で足りないところを補っているそうです。この学校ではコンピューターを設置し、ネットワークの学校の生徒達がコンピューターの授業を受けに来ているそうです。

タイ・バンコクと違い、地方(チェンマイ)では、小学低学年であろう子供が物乞いする姿も見られました。22日夜に2時間ほど降ったスコールで、道路は車のタイヤ半分ほど水没し床上浸水している家屋もありました。また、学校にはには子供達に牛乳の配給があるそうなのですが、随時一定量を配給される訳ではなく、国や地方の情勢によって配給されたりされなかったり、その数も増減するようです。まだまだ生活する事に重点が置かれ、教育は安定していないように感じました。

### 2) 活動結果

紙が貴重とされているようなので、次回はノートも持参して行きたいと思えます。また、VISIT SCHOOLのコンピュータールームを見ますと、今では日本で見ることの無いかなり古い機種で、その数も十分とは言えません。次回はこの学校のコンピューターの設備を整えて、10~12校の生徒達が十分学べる環境を作れるよう、我々の地区でも皆様のご協力を頂き、奉仕の和を繋げていければと考えています。